

**平成26年度
アウトリーチ(訪問支援)研修<合同研修前期> 日程表**

於: 国立オリンピック記念青少年総合センター

9月1日(月)

13:30～	開会の辞(内閣府青少年支援担当)
13:40～14:40	「平成25年度アウトリーチ(訪問支援)研修受講生 - 本研修から学び得られた事柄」
14:50～16:50	各研修生の活動紹介(自己紹介含む)
17:00～17:45	実地研修に伴う受入団体との情報交換
17:45～	事務連絡

9月2日(火)

9:30～17:00 講義・演習①	「地域の関係機関・社会資源を活用した支援とソーシャルワーク論」 久留米大学文学部社会福祉学科 教授 門田 光司 氏
17:10～17:30	講義・演習から学び得られた事柄に関するワーク

9月3日(水)

9:30～17:00 講義・演習②	「アウトリーチと重層的な支援ネットワークを活用した多面的アプローチ①」 特定非営利活動法人 NPOスチューデント・サポート・フェイス 代表理事 谷口 仁史 氏
17:10～17:30	講義・演習から学び得られた事柄に関するワーク

9月4日(木)

9:30～17:00 講義・演習③	「アウトリーチと重層的な支援ネットワークを活用した多面的アプローチ②」 特定非営利活動法人 NPOスチューデント・サポート・フェイス 代表理事 谷口 仁史 氏
17:10～17:30	講義・演習から学び得られた事柄に関するワーク

9月5日(金)

9:30～11:00 講義・演習④	「アウトリーチの技法と当事者に求められる支援者像～約40年のひきこもり支援実績から」 特定非営利活動法人 青少年自立援助センター 常務理事 河野 久忠 氏
11:10～11:30	講義・演習から学び得られた事柄に関するワーク～実地研修で習得したい知識・技法等の整理～
11:35～	閉会の辞(内閣府青少年支援担当)

研修生の受入団体とのマッチング（実地研修先の調整）方法について

アウトリーチ（訪問支援）研修において、研修希望者と研修受入団体とのマッチング（実地研修先の調整）は次のような流れで行うものとする。

- 1 各団体の受入可能人数は、次のとおりであると仮定する。

	団体ア	団体イ	団体ウ	団体エ
受入可能人数	4人	3人	1人	2人

- 2 研修希望者の第1希望の分布状況は、次のとおりであると仮定する。

	団体ア	団体イ	団体ウ	団体エ
希望者	A B C D E	F G	H I	J

- 3 内閣府は、応募資格の要件を満たしていることを確認の上、各自の第1希望に従い、団体アにはA B C D Eの書類のコピー、団体イにはF Gの書類のコピー、団体ウにはH Iの書類のコピー、団体エにはJの書類のコピーを送付する。

- 4 それぞれの団体における書類審査の結果、以下のとおり受入者を決定すると仮定。

	団体ア	団体イ	団体ウ	団体エ
合格者	A B C D	F G	H	J
不合格者	E		I	

- 5 Eの第2希望は、団体イであると仮定する。団体イには受入可能人数に余裕があるので（3人中2人のみ決定）、内閣府は、団体イにEの書類のコピーを送付する。

Iの第2希望は団体ア、第3希望は団体エであると仮定する。団体アは既に受入可能人数まで受け入れているのに対し、団体エには受入れ可能人数に余裕があるので（2人中1人のみ決定）、内閣府は、団体エにIの書類のコピーを送付する。

- 6 それぞれの団体における書類審査の結果、以下のとおり受入者を決定すると仮定。

	団体ア	団体イ	団体ウ	団体エ
合格者		E		
不合格者				I

※ 各団体は、受入れ可能人数に余裕があったとしても、希望者の中に適格者がいなければ不合格とすることができる。

- 7 以上の結果、以下のとおりの決定となる。

	団体ア	団体イ	団体ウ	団体エ
受入者	A B C D	E F G	H	J

（Iはいずれの団体にも受け入れられない。）